

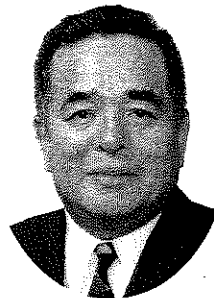
宮崎県在京経営者会議だより

創刊号

宮崎県在京経営者会議
発行責任者/高山弘憲
事務局/養毛俊雄
〒151-8583
東京都渋谷区代々木2-2-1
新宿サザンテラス
新宿みやざき館KONNE気付
TEL03-5333-7764

宮崎県在京経営者会議の発足と使命

宮崎県在京経営者会議会長 高山弘憲



首都にも新緑の季節が訪れ
ております。

宮崎県在京経営者会議
会員並びにご賛同いただ
いた皆様方におかれましては
益々ご健勝にてご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。

さて、本会議は平成十一
年十月二十五日約百五十
名のご臨席をいただき東京
霞ヶ関ビル内で設立総会が
開催されました。

早速ながら、本会の目的
及び趣旨などを要約します。
本会の会員は、関東地区に
在住する宮崎県出身の起
業家及び会社役員並びに
会社管理職等です。そして、
「会員相互の事業交流及び
郷土経営者との経済交流
並びに会員の親睦を図る」

ことを目的としております。
また、本会は、二十一世紀
への正しい展望を切り開く
ため、国内外の潮流となつて
いる国際化、情報化、技術革
新、環境問題のほか国内の
政治、経済社会の地方への
拡大、そして少子、高齢化の
進展、労働人口の通減化な
どに対応し、新しいビジネス
を啓開するための情報イン
フラとネットワークが必要で
あるとの趣旨から設立され
たものです。

設立総会后、月一回程度
の役員会を開催し、平成十
二年度の事業計画(案)、特
に年度総会及び年度計画
の主要事業として経済交流
の主要事業として経済交流
会をはじめ商談事業、地域振
興、研修交流、貿易事業、奨
励制度などのおおむね十二部
会の設置・活動の構想や会
報の発行などを模索しなが
ら審議を重ねてまいりまし
た。

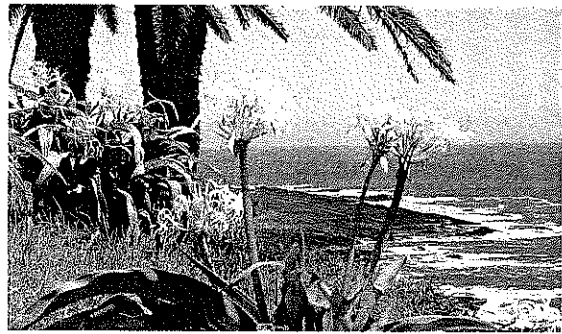
南日本新聞に対する取材
協力、知産権部会の設置な
りうるよう、その使命を十
分認識し、組織の拡大と事
業目的の達成に努力を傾
注し、郷土への貢献を図り
たいものと念願いたしてお
ります。

ミレニアム新年という由
緒ある年に、沖縄サミットが
開催されますが、県都宮崎
市で、七月十二、十三日の
二日間にはわたり「九州沖縄
サミット宮崎外相会合」が
開催されます。県では「サミ
ット対策室」を早々に設置し、
受け入れ態勢や協賛行事
の準備を意欲的に進めてお
り、当会としてもその成功
を期待しているとところで
あります。

本会は、草創期の組織故
に、会員皆様方の格別なる
ご支援、ご協力を切にお願
いするものであります。

この間、賀詞交歓会の開催
会は、在京宮崎県人会にと
最後になりましたが、本

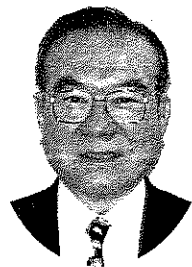
こと間、賀詞交歓会の開催
会は、在京宮崎県人会にと
最後になりましたが、本



宮崎県花はまゆう

設立にあたって

幹事長 河野昭



目に開幕した、初めての賀
詞交歓会では大勢の会員が
これからの会の活動に期待
しながら大いに盛上ったので
ある。

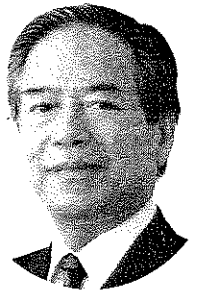
春陽うららなり、空青き
宮崎のふるさとを想いうか
べながら、そして二千年の幕
明けの時、宮崎県在京経営
者会議設立の記をしたため
る喜びは一入である。
一九九九年九月十七日、
東京、宮崎間は一時間半
もあればフライト出来る距
離、首都圏の通勤圏内である。
ハイテク機能は日進月歩
で発達し、距離感のないスピ
ーディーな時代となっている。
近年の厳しい社会情勢下
に於いて、私達に求められる
人的、文化的、及び経済的
交流は年々その必要性を増
している。

このような集りは他県の
活動に比べて遅きに逸した
感はあるものの、千年代最
後の締め括りとしては、む
しろ新たな出発にふさわし
い組織であると思う。精力
的に会合を三回も重ねて熱
心に討議し、十月二十五日
に設立総会を立ち上げたの
だった。

それは、殆んど声をか
け合うことが全くなかった
同郷の経営者同志が、手を
携えて共生して行こうと、
ベンチャー起業の一騎当千の
猛者達が賛同してくれた。
記念すべきミレニアムの節
の意義であると信じる。

それ迄は、殆んど声をか
け合うことが全くなかった
同郷の経営者同志が、手を
携えて共生して行こうと、
ベンチャー起業の一騎当千の
猛者達が賛同してくれた。
記念すべきミレニアムの節
の意義であると信じる。

それ迄は、殆んど声をか
け合うことが全くなかった
同郷の経営者同志が、手を
携えて共生して行こうと、
ベンチャー起業の一騎当千の
猛者達が賛同してくれた。
記念すべきミレニアムの節
の意義であると信じる。



顧問 日高啓

第一回総会を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

宮崎県在京経営者会議が発足して約半年になりましたが、メンバーも二百名を数え、順調な滑り出しを見せています。之ひとえに高山会長を始め副会長、幹事長、事務局長、地区幹事皆さんのご努力の結果と感謝して居ります。

今まで殆ど交流のなかった在京の若い経営者、管理者同志の交流が既に始まっていると聞き、喜んでおります。六月に入ると宮崎の経営者会議が発足し、お互いの情報交換、交流が始まる事でしょう。

役員会での議論は非常に積極的です。専門部会の設置も決まり、活発な活動が期待されます。若葉の経営者会議が徐々に枝を伸ばし、根を張り、大きく成長することを心から願って止みません。

役員紹介

顧問 日高 啓 (株)高島屋

木下 昌浩 (全日空(株))

黒木 靖夫 (株)黒木靖夫事務所

高山 弘憲 (ジャパン・プロテクション(株))

副会長 興梠 三男 (日都産業(株))

廣島 昭夫 (株)三和

山中 祥弘 (学校法人ハリウッド美容専門学校)

中島 龍男 (高千穂プリント(株))

浜砂 順一 (東亜土木(株))

幹事長 河野 昭 (株)明治屋

事務局長 蓑毛 俊雄 (栗田工業(株))

地区幹事 高木 謙次 (株)三鷹

松浦 成利 (株)松浦会計事務所

黒木 啓 (株)日庄

蓬原 良雄 (白河電産(株))

水居 徹 (株)オールウエイズ

中原 年男 (株)匠建設

岡山 茂 (メデイカルスペース(株))

三浦 幸夫 (ミウラ倉庫(株))

高木 恵理 (株)セルト

高橋 司好 (株)高橋建築事務所

清池 亀久 (東立工業(株))

岡田 良一 (向洋アドシステム(株))

吉川 憲章 (吉越物産(株))

谷口 義幸 (株)学生情報センター

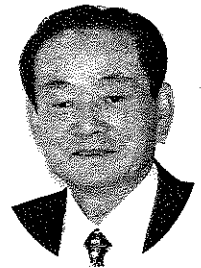
監事・特別相談役 泥谷 伸彦 (混合法律事務所)

荒武 主一 (公認会計士不動産鑑定士事務所)

杉本 幸二 (旭化成カラーテック(株))

池田 俊文 (池田税務会計事務所 税理士)

知産権部会 発足について



副会長・知産権部会部会長 興梠 三男

このたび創立された、宮崎県在京経営者会議が真に意義ある会として発展するには、各部会活動を活発に運営することが重要課題であります。

そのなかで、前宮崎県東京物産観光センター所長、青木康氏のご提案で、知産権部会を発足させることになったので、その概要を説明します。

【設置目的】
二十一世紀は「知恵の時代」

知産権部会について



知産権部会顧問 川添 不美雄 (川添特許事務所)

二十世紀は「知恵の時代」といわれている。

在京経営者会議に設置

だといわれており、その知恵部会として、「開発されるを生かした新起業の創出を目的とする」というのが、この時代に求められるもの。知恵は、人が生れながらにもっている感性、独自性、創造性であります。

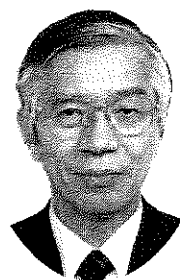
次に、その知恵によって生み出されたことや、ものを育てることが大切であると共に、それらを受け入れることができ、正しく評価することができ、正しく評価すること、さらには、それを事業化できる人も必要であり、そしてあらゆる分野の人の知恵を集約することが肝要であります。

知産権部会は、二十一世紀に向けて、中央、地方が一体的な相互協力をすすめて、効果的に新起業の創出をする組織として創立された宮崎県在京経営者会議の一環として設置されています。

された知産権部会は、①知恵で産み出したモノに関する評価と権利化を支援する。②これから造るべきモノを考え出す人に必要な情報を提供する。③考え出されたモノの商品化のための情報を提供する。④新起業の創出を強力に支援する機構です。

この部会は「無かったモノ」を有にするには「こうす」と提案ができるように、

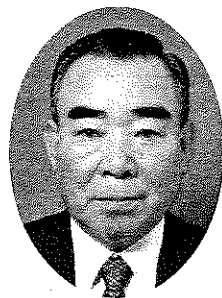
（注1）こうすは、考、行、工、功、効、購、興、幸などをあてはめます。
（注2）人は、①発明者、考案者、研究者、発明者、②製造業者、③流通業者、④知産権化支援者（弁護士、弁理士、行政書士、学者など）、⑤起業化支援者（行・財政者など）です。



副会長 山中祥弘

郷土宮崎出身の経営者会議、このような会の発足を心待ちにしておりました。東京で活躍しておられた郷土の諸先輩を夢見て上京した昭和二十八年頃のこと

在京経営者の会は、郷土愛を絆として形成されました。「郷土を誇りに思わない人は信用出来ない」という言葉があります



副会長 廣島昭夫

昨年夏、八月二十四日、青木・養毛の両氏が新若州ビルに来社され、宮崎県出身者による「在京経営者会議」の設立について相談がありました

があり、豊かな自然環境を生かした「健康福祉県」の夢の実現と、中国種「苦そば」を中国、県庁、宮大と提携して、一次栽培から製品化して宮崎特産品とすべく取り組んでいた時であり、又、「シ

の会場となる「世界の宮崎」を情報発信の絶好の機会としてとらえ、「太陽と緑の国」「日本のルーツ神話の国」「健康福祉・日本の元氣」をイメージ出来たら、と成功を祈っています

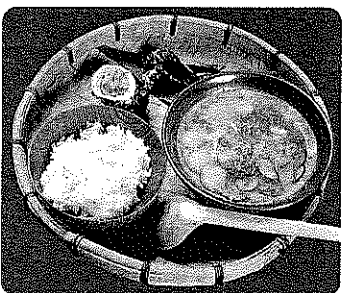
う」と呼びかけたい。そして「世界の宮崎」の夢の実現に向けて行動しよう。

ば十七%弱ということになります。テレビなどに比べれば低いということになるのですが、一つだけ他のメディアと大きく違うことがあり

コンネと冷や汁

新宿みやざき館 KONNE

店長 重久 保彦



「冷や汁」定食

宮崎県在京経営者会議の皆様には益々のご健勝、ご活躍の事とお慶び申しあげます。日頃は「コンネ」のご支援ご指導をいただきまして有難く御礼申しあげます。

に加えて在京県人会の方々の大きな支えがあり毎日の多くの来館者で賑わい今日に及んでおります。

研究家堀江先生の指導を受け夏は「冷や汁」冬は「豚汁」の定食をメニューとして発売好評を得ております。

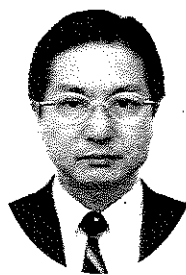


新宿みやざき館 KONNE

新生、「牧水研究会」

知産権部事務局
牧水研究会事務局

池田 俊文



平成十二年は西暦二千年（ミレニアム・千年紀）の幕明けの年です。二十一世紀への橋渡しの記念すべき此の年に「牧水研究会」は産ぶ声を上げました。日本全土に向け、そして世界に向けても発進していこう、と。

「牧水研究会」は、旅することを愛し、草木を愛し、詩歌に情念を炎した牧水を顕彰し、同時に北原白秋、土岐善麿、吉井勇、三木露風、

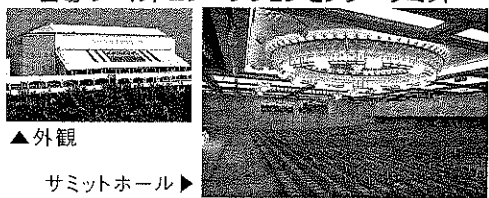
野口雨情、西条八十、種田山頭火など、同世代に生きた感性豊かな文人たちにも、想いを馳せようとしています。日本人の心の奥底に昔から根付いている「求めて止まない安らぎや労り」「青春の謳歌」更に「明治、大正期の文化」まで、もう一度真摯に掘り起し、牧水や当時の文人たちの「憧れ」と「旅」、「酒」、「愛」の真実に迫って

「酒」、「愛」の真実に迫ってまいろうと、有志たちは集いました。若山牧水の「うた」を誇りとし、愛する皆々様「牧水研究会」を是非、是非ご支援くださいますようお願いいたします。



平成12年4月22日 宮崎県開催大平洋・島サミットの 大成功を祝す。

2000年
九州・沖縄サミット外相会合の
成功を心から祈念申し上げます。
—会場：ワールドコンベンションセンターサミット—

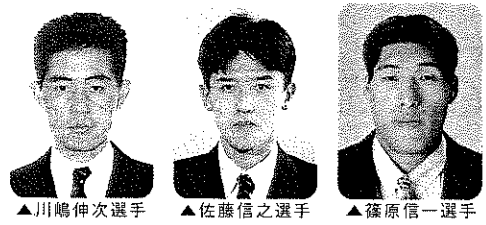


▲外観

サミットホール▶

目ざせ金メダル!! —シドニーオリンピック—

旭化成延岡の選手団



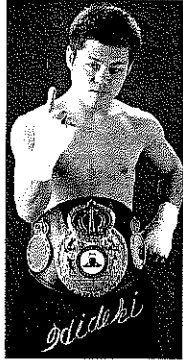
▲川嶋伸次選手 ▲佐藤信之選手 ▲篠原信一選手

郷土宮崎で厳しい練習を積んだマラソンの佐藤信之選手・川嶋伸次選手、柔道の篠原信一選手（100kg超級）に熱い声援を送ります。尚、中村選手兄弟については、「アジア柔道選手権大会」で最終決定します。

防衛なる!日本唯一の世界チャンプ死守!

—宮崎県在京経営者会議諸先輩の皆様へ—

今回、東京ミウラ倉庫株式会社・三浦社長から、宮崎県在京経営者会議の集まりがあることを知らされ、宮崎県出身者である戸高選手が、常日頃から皆様方諸先輩に応援していただいていることを知り、大いに感謝している次第です。おかげさまで今回は防衛がかない、次回に向け、さらに期待に応えられるよう努力して参ります。今後もぜひ応援の程よろしくお願ひ致します。



世界スーパーフライ級チャンピオン 戸高 秀樹

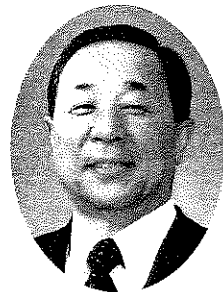
緑ジム会長 松尾敏郎

「宮崎県在京経営者会議」総会開催によせて

平成十二年度「宮崎県在京経営者会議」総会開催にあたりまして、まずもつて、本会設立から本日の総会に至るまでの関係者の方々の「努力に衷心より感謝とお礼を申し上げます。事業計画によりまして、本県経営者との経済交流及び情報交換並びに若手

経営者の育成事業等も掲げておられ誠に感謝に堪えません。現在、本県をはじめ地方経済の発展にとって新事業の創出が大きな課題となっており、国の経済方針もベ

ンチャー起業の支援策が重要な政策となっております。しかしながら、地方での事業拡大や新規事業の創出のためには、設立趣意書で指摘のとおり、それが可能な情報インフラとネット



中島 勝美

宮崎産業活性化協会(仮称) 設立発起人会代表 雲海酒造(株)社長

やみません。また、知的所有権の事業化をご支援頂く「知産権部会」も設置され、時期を得たものとして心からご指導をお願い致します。

最後に、皆さんの郷土に對する思いに恥じないよう、地域発展に尽くす決意を表明し総会開催の祝辞とさせていただきます。



事務局長 荻毛 俊雄

事務局ユース

事務局は、単に会の事務を執り行なうだけでなく、

「動く事務局」として世の中の動向を機敏に察知し、会員相互の情報基地として積極的にその役目を果たしたいと考えます。会員の皆さんも、遠慮なく「動く事務局」を大いに活用下さい。事務局が、デクの坊やウドの大木にならないよう皆さんの意見や協力を心からお願ひ致します。

ベンチャーとは、「無から有を作る人間の智慧」のことです。智慧は、タダで無限ですから大いに使いましょ

編集後記

創刊号の発行にあたり、ご寄稿、写真の提供を頂きました皆様と、編集、印刷にご支援ご協力を頂きました株式会社日庄の代表取締役、黒木啓様に厚くお礼申し上げます。今後、この創刊号の発行を機に、皆様の指導の下、在京経営者会議の発展の為に、更に内容を充実させ愛される会報にしていきたいと考えています。

広報部長 杉本幸二